



報道関係者各位

2026年2月25日

埼玉県朝霞市

株式会社マーケットエンタープライズ

## 埼玉県朝霞市が不要品リユース事業で

### 「おいくら」と連携を開始

～リユース施策初導入による廃棄物削減へ～

埼玉県朝霞市(市長:松下 昌代)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、2026年2月25日(水)より連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、朝霞市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



#### ■背景・経緯

朝霞市では、リサイクルプラザでのリサイクル家具の販売といった、SDGs に向けた取組を行なってまいりました。一方で、ごみ処理費用の負担増加に加え、市民に向けたリユース活動の周知・啓発に課題を感じており、リユース施策の導入を検討しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。そうした中で、マーケットエンタープライズが朝霞市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

## ※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リユースショップに一括査定依頼され、買取価格・日時・買取方法・口コミなどを見て比較することができます。一度の依頼だけで不要品の査定結果をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 155 万人(2025 年 6 月末日時点)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

### ■朝霞市の課題と「おいくら」による解決策

朝霞市では、事前申請による戸別収集及びクリーンセンターへの自己搬入にて粗大ごみの有料回収を行なっておりますが、回収までに時間を要することが続いておりました。また、大型品や重量のあるものでも、原則市民が自宅の外へ運び出す必要がありますが、自宅から家庭ごみを搬出してほしいという要望が多く寄せられていました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取できる可能性があります。「おいくら」を通じて買取依頼を行えば、最短で当日の不要品売却・受け渡しが可能となります。なお、市民のサービス利用はもちろん、市の費用負担もありません。

### ■今後について

2 月 25 日(水)15 時 30 分(公開時間が前後する可能性があります)に朝霞市ホームページ内(<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/15/sodaigomisyoibun.html>)へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。朝霞市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という手軽なリユース手段が市民に認知されれば、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

### ■埼玉県朝霞市

朝霞市は、埼玉県南西部の武蔵野台地の東に位置しています。南は東京都練馬区、北は志木市、東は和光市、西は新座市、さらには荒川を隔ててさいたま市、戸田市と隣接しています。朝霞市内には荒川、新河岸川、黒目川、越戸川の 4 つの河川が流れており、豊かな水辺空間を有しているのが特徴です。かつての米軍基地跡地は、現在では小・中・高等学校をはじめ、陸上競技場、体育館、図書館、公園などの公共施設が整備されたエリアへと転換されました。市民のスポーツや文化活動、憩いの場として幅広く利用され、都市基盤の重要な一部を担っています。都心部から 20 キロメートル圏内という好立地にあり、短時間でアクセスできる高い利便性をもちながらも、朝霞市内には木々の緑や川のせせらぎ、起伏のある坂道など、武蔵野の伝統的な景観が随所に残されています。都市的な利便性と自然環境が均衡を保ち、良好な住環境とコミュニティが形成されている魅力ある市土となっています。

人口:146,467 人(男性 73,754 人、女性 72,713 人)(2026 年 2 月 1 日)

世帯数:72,134 世帯(2026 年 2 月 1 日)

面積:18.34 平方キロメートル(2026 年 2 月 1 日)

ウェブサイト:<https://www.city.asaka.lg.jp/>

## ■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、モバイル通信事業や情報メディアの運営など複数の事業を展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ940万人を達成しました。朝霞市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で305にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト: <https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト: <https://www.marketenterprise.co.jp/>

### 【報道関係者からのお問合せ先】

朝霞市に関すること

朝霞市 市民環境部 資源リサイクル課

担当: 増田、鈴木

Tel: 048-456-1593 Mail: [sigen\\_risaikuru@city.asaka.lg.jp](mailto:sigen_risaikuru@city.asaka.lg.jp)

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当: 橋本

Tel: 03-6675-3923 Mail: [pr@marketenterprise.co.jp](mailto:pr@marketenterprise.co.jp)